討議資料

とおるニュース

TOORU NEWS

NO.15

http://www10.plala.or.jp/sugimoto-t/

発行所／杉本とおる事務所
発行責任者　杉本　透
平成24年（2012年）7月1日発行

〒258-0113 足柄上郡山北町山北1889-3
TEL.0465-75-3001
FAX.0465-79-1661
sugi-t@beige.plala.or.jp

"リフレッシュ足柄" あゆみ の実現をめざして…

区分		主な内容
県議会	議会	24年2月14日～3月23日　第1回定例会 24年5月15日～7月９日　第2回定例会
県議会	視察	2月１日～３日　広島、徳島（広島警察・尾道医師会・徳島県上勝町役場） 3月６日　国道134号線拡幅工事花水川橋右岸視察、相模川流域下水道左岸処理場視察、湘南海岸公園津波避難タワー建設予定地視察 3月19日　鎌倉市役所（世界遺産登録申請の件）視察 4月19日　酒匂川右岸視察 4月21日～28日　スリランカ、モルディブ国際協力議員連盟行政視察 5月７日～８日　神奈川県議会スポーツ振興議員連盟宮古島行政視察
選挙区内	行事	１月 ・中井町、大井町、松田町、山北町、開成町賀詞交換会・松田警察署武道始め・消防出初式（５町）・成人式（５町）・神奈川県賀詞交換会・足柄上地区一周駅伝大会・川本杯争奪チームレース大会（山北町） ２月 ・まつだ桜まつり・杉本とおる新春のつどい（11日） ３月 ・山北町内一周駅伝競争大会・松田町の総合型地域スポーツクラブ設立総会・湯河原町議会議員選挙・大井町菜の花まつり・大井町里山ふれあい祭・自民党県連大会（26日） ４月 ・やまきた桜まつり・大野山山開き ５月 ・足柄茶安全宣言（19日）・松田町若葉まつり・足柄金太郎まつり（南足柄市）・西丹沢山開き・水防演習（酒匂川・新十文字橋上流左岸） ・杉本とおる後援会バス旅行（14日） ※24年度上期・各会の行事、イベント、総会等に出席

「かながわグランドデザイン」に県西の声を!!

日頃から、足柄上郡の皆様には、絶大なるご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

平成24年度は、黒岩知事の2年目の年となり本格的な予算が組まれました。相変わらずの財政難の中で「いのち輝くマグネット神奈川」を実感できる予算としております。県民が生きている喜びを実感し、生まれてよかった、長生きしてよかったと思えること、人やものを引きつけるマグネットの力を持ち、住んでみたい、何度も訪れてみたいと思う魅力に溢れている神奈川県を作っていくことです。その基本理念に則って、新たな総合計画「かながわグランドデザイン」を策定し、事業が展開されます。

重点的な政策として6つの柱を立てております。

①神奈川からのエネルギー政策の転換　②災害に強く安全で安心してくらせるまちづくり　③いのちが輝き誰もが自分らしくくらせる社会づくり　④次世代を担う心豊かな人づくり　⑤人を引きつける魅力ある地域づくり　⑥神奈川のポテンシャルを生かした活力創出。

具体的な事業として特出すべきものは、全国の先駆けとなる「神奈川モデル」として次の12事業の推進であります。

①かながわスマートエネルギー構想の推進　②ビックレスキューかながわの実施　③かながわ感動介護大賞の創設　④医療のグランドデザインに基づく取組み　⑤医食同源の推進　⑥「いのちの授業」の実施　⑦子どもの総合的自立支援ネットワークの構築（児童自立支援拠点の整備）　⑧にぎわい拠点づくり（新たな観光の核づくり）の推進　⑨「みずのさと　かながわ」づくり　⑩産業人材の育成拠点の整備（西部総合職業技術校の開校）　⑪かながわ国際ファンクラブの結成　⑫京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の推進。

知事の先進的な取組みは評価できますが、あくまでも、県民の声を事業に反映させることが重要でありますので、事業に対する議論を深めて参ります。

本年度も引き続き県民のため、足柄上郡の皆様のために全力で取り組んで参りますので、変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

杉本県議の視察報告

日本の海を豊かにするサンゴの保全

パンヤンツリー・モルディブ海洋研究所にて

日本のODAで建設された防波堤により被害を出さずに済んだ事を記念して建てられた津波モニュメント

パンヤンツリー・モルディブ海洋研究所 視察

1998年に世界的に広がったサンゴの白化現象（サンゴと共生している褐虫藻が水温の上昇やストレスで逃げ出してしまい、サンゴ自体もやがて死んでしまう現象）がモルディブでも始まり、将来、島も存続さえ危うくなる状況が考えられるとし、サンゴの保全の取組みが始まりました。バビンファル島に「パンヤンツリー・モルディブ海洋研究所」を設立し、海洋環境の保護と研究が始まりました。結果、2008年３月24日サンゴの産卵が確認され、その後、バビンファル島とイフル島２つのリゾートのリーフの周辺で、９種類、30ヵ所以上のサンゴ礁でサンゴの産卵が繰り広げられました。これにより、リーフが白化現象から復活し、リーフに新たに生まれたサンゴたちが定着し、今後は、美しいサンゴの森が作られていくことになるでしょう。

サンゴは、ただ美しいばかりでなく、二酸化炭素を吸収して、酸素を排出します。また、大気中の二酸化炭素を凝縮させ、固体に変える働きも行い炭素を半永久的に閉じ込めてしまうそうです。酸素の排出量は木の６～16倍というから驚きです。

サンゴはやがて白砂となり、海辺の動植物の暮らしを支えます。まさに、海の恵みのリサイクルです。また、この海流はパラオ、フィリピン、パプアニューギニアの別名「コーラルトライアングル」を経て、日本に向かって流れています。サンゴを育てることは、日本の海を豊かにすることにつながるのです。潮の流れの上流で海洋の保全に取り組んでいるので、下流の日本における海洋、海岸の保全に対する取組みの重要性を痛感しました。

在スリランカ日本大使・粗 信仁氏（左側の方）と、援助について意見交換

子供たちの歓迎を受ける

アール国会議員と意見交換

平成24年度 県議会役職

・環境農政常任委員会 委員長
・地方分権行財政改革特別委員会 委員
・議会運営委員会 委員
・国土利用計画審議会 委員
・議会改革検討委員会 委員

この視察報告は、県自民党・国際協力議員連盟の行政視察です。
（4/21～4/28 スリランカ、モルディブ 13名参加）

子供たちに教育環境の支援
スリランカ全国幼児教育振興財団 視察

当財団は、学校運営を通して経済的に恵まれない子供たちに就学の機会を提供しています。財団理事長である僧侶のソーマワンサ博士のスリランカの哲学や文化に基づいた教育システムにのっとった教えは高い評価を得ています。今回の視察は、子供たちを始め保護者の方々からも大歓迎を受け、経済的には恵まれなくても目の輝きに感動を覚えました。また、横浜北ロータリークラブから学校在籍の下半身マヒの女子へ電動車椅子を寄贈する役目も負っていました。本人はもとより多くの人々から大変感謝されたことは、私たちも感激しました。

公的に教育が行き渡っている日本と比べ、誰かが手を差し伸べなければならない教育環境が存在している現実を目の当たりにして、私たちアジアの一員として民間レベルでも援助しなければならないと痛感しました。また、子供たちは、日本の子供たちと交流したいと願っていることを今後の課題として対応していきたいと考えています。

杉本県議に期待して

大井町　宇田川　聖一

私が透君（**杉本県議**）に初めてお会いしたのは半世紀も昔に遡ります。1960年の夏、昆虫採集に同行した時でした。私は、当時清水小学校の教員をしており透君の母の実家に下宿していたのでそんなお役が回ってきたのです。透君は小学校一年生でしたが、話すことが豊富克つ正確で小学校高学年程度の内容だったので吃驚しました。その時「この子は只者じゃないぞ。将来大きな仕事ができるような人物になるかも知れない。」という予感が私の中を走り抜けたのを覚えています。それから半世紀の時が流れ、透君は県議になり、その仕事振りも的確でした。半世紀前の私が抱いた予感は当たり、内心大いに喜んでいたのです。

今、足柄地区では広域防災体制の更なる進展、地域医療体制の充実、農工商を併せた地域経済の発展、各種インフラの整備、観光事業の興隆等まだまだ「県政を県西へ」の課題は山積しています。今改めて、透君の疲れを知れないエネルギッシュな働き振りに、今度は昔とは違って予感ではなく現実的な期待を抱いています。

杉本県議、ご自愛の上、私たちのためにあとひと働きもふた働きもして下さい。

後援会ニュース

杉本とおる 山北町後援会 新会長就任

池田嘉明氏から瀬戸 茂氏に引き継がれました

ご挨拶

山北町後援会
新会長
瀬戸　茂

この度、杉本とおる山北町後援会の会長を仰せつかりました瀬戸 茂です。

前山北町後援会会長の池田嘉明様におかれましては、長い間の責務を全うしていただきました。図らずも、後援会長の交代という新たな時を迎えようとは夢にも思っていませんでした。

今、県政は財政難の名の下に、予算の縮小を弱いところに押し付けようとしています。そんな時に、リフレッシュ足柄のスローガンのもと、県西地域では休むことなく心血を注ぎ活動されている**杉本県議**を支えていくことは、我々足柄5町の将来にも関わる大事な仕事だと思います。どうか皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

私も微力ながら池田嘉明様に負けぬように頑張る覚悟ですので、皆様よろしくお願い申し上げます。

杉本県議を囲んで（掛川花鳥園にて）

杉本とおる活動スナップ

ばらの丘公園での一行

杉本とおるバス旅行

5月14日（月）開催

当日は五月晴れにも恵まれ、足柄上郡5町から総勢360名が参加。バス9台を連ねて、静岡県にある掛川花鳥園や島田市ばらの丘公園、焼津さかなセンターなどを巡る楽しいバス旅行が実施されました。

大野山山開きに出席

地域

農業体験施設開所式に出席（大井町）

（一部掲載）

視察

（右写真）
徳島県上勝町視察。
高齢化率が非常に高い町のお年寄りが、葉っぱビジネスに取り組み、高収益を上げている。

（上写真）
県議会スポーツ振興議員連盟による行政視察。
宮古島トライアスロンを始め、スポーツ振興について、宮古島市長らと意見交換。

様々なプログラムによるリハビリの実践で注目を集める大規模通所型介護施設・生きがい養生所「夢のみずうみ村」視察（山口市）

杉本とおる「新春のつどい」を開催

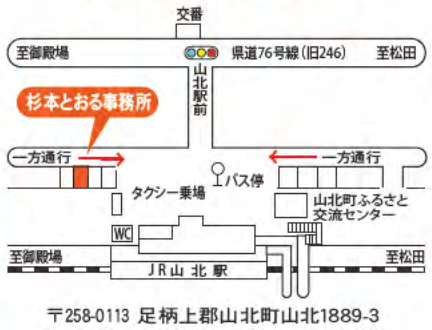
2月11日（土）に開成町福祉会館多目的ホールで開催いたしました。当日は、足柄上郡の首長、議会議長、議員の方々をご来賓に迎え、また多くの後援会員、支持者の方々のご来場を頂きました。

ホール満席約500名の盛大な「新春のつどい」では、尾上信一上郡町村会長や多くのご来賓の方々のご挨拶を頂くとともに、**杉本県議**からは「2期目にもなりましたので、これからはさらに足柄上郡の皆様方が安心して暮らせるようにしっかりと努力していきます」と抱負を述べました。

第2部では、佐藤ゆかり参議院議員の時局講演会「今後の年金のあり方」があり、わかり易く解説して頂きました。

佐藤ゆかり参議院議員と杉本県議夫妻

杉本とおる事務所



〒258-0113 足柄上郡山北町山北1889-3
TEL.0465-75-3001
FAX.0465-79-1661

とおるニュース編集委員会　〔委員長〕兼子孝泰　〔副委員長〕宇田川聖一　〔委員〕栗原邦夫　瀬戸　厚　杉本　毅　高杉範房